

# 漁業者育成事業



〈事業主体名〉  
青森県漁協青年部連絡協議会  
 〈事業年度〉  
平成28～30年度  
 〈助成金使用項目〉  
○潜水士実技講習会  
○潜水士学科講習会 他  
 〈連絡先〉  
青森県漁業協同組合連合会 指導部指導課  
〒030-0803 青森市安方1-1-32  
TEL.017-722-4218

### プロジェクトの経緯

平成28年度～若手漁業者を対象に潜水士資格免許取得にかかる費用を助成。平成30年度までの3カ年で、48名が資格試験を受験し、うち37名が免許を取得している

### 自分たちの海の状況を自分の目で見るのが重要

「近年、気候変動や護岸工事などの影響で、沿岸の環境は大きく変わってきています。これにより、昔は獲れた魚が獲れなくなったり、時には藻場が荒れる磯焼けの被害が出ることもあります。資源管理のためにも、漁業者自身が、自分たちが漁をする海の状況をしっかりと知っておくことが大切ですが、そのためには、実際に潜って、自分の目で確かめるのが一番です。ウニやナマコが減っているのが、魚種が変わってきたということも、潜ってみて初めて実感することができます。」

この事業は、次代を担う若手漁業者を対象に、国家資格である潜水士の免許取得のための実技講習、学科講習等を助成するもの。これまで3カ年実施し、県全体で37名が潜水士資格を取得しています。

「青森県でも、漁師の後継者不足は深刻で、平均年齢は60歳以上になっている漁協が大半を占めます。これからの海を実際に守って

### 漁業という仕事にやりがいをもつきっかけに

「一次産業は何でもそうだと思いますが、魚を獲るにしても、養殖にしても、ベテランの漁師は何事も経験や勘が頼りというところがあります。若い人たちは先輩に付いて技術を学んでいきますが、経験や勘は、簡単に身につくものはありません。これではなかなかやりがいや意欲を持っていないかと思いますが、しかし、年配の漁師で潜水士資格をもっている人は少ないですから、実際に潜って観察してくると、自分たちにはできないことがあれば、先輩と対等に話



青森県漁協青年部連絡協議会 会長 後藤 石雄さん

## 自分が生きる海を知り 自分の命を守るために 潜水技能の取得を奨励

ができます。

ベテランは、漁の成果で海が変化していることはわかりますが、その原因として海の中で何が起きているのかはわかりません。先輩から海が変わってきたということも学んだら、自分たちを実際潜って見えてきて、それを先輩に報告する。じゃあどうしよう、こういう変化が起きているから、対応するためにはこんなことをしなくちゃいけない、そういうことをベテランと若手が一緒に考える。若い人も、自分の考えをもって、それを先輩たちにぶつけてみてほしい。そういう流れが生まれれば、若い人たちが漁師という仕事の面白さ、あるいは自然を相手にする難しさを実感して、この仕事にもっとやりがいを感じてくれるのではないかと思います。本協議会として、この事業によって、そういうきっかけを若手に与えていきたい、そういう思い

もあります。

また、今は昔と違い、自分たちの前浜でも、そこが遊泳禁止になっていることがあり、一番身近な海で泳いだことがないという漁師も多くいます。中には、泳げない人もいる海の中ですから、潜水の知識のあるなしは、生命の危険に関わってきます。海で仕事をすると、水圧がどれくらいかかるかと人体にどれだけの影響があるのか、そういうことも理解してほしい。命を守るという意味でも重要な事業だと考えています。」

### 若手の意欲が青森の漁業の活力となる

「これまで37名がこの事業で免許を取得していますが、個人的にはまだまだ少ないなという印象もっています。青森県は三方が海ですから、地域によって漁の繁忙期が異なる

り、講習に参加したくても日程が合わずに参加できないという人もいます。また、沿岸の魚や磯場の生物、海藻などを中心に漁をしている漁協と、太平洋、日本海を主漁場としている漁協とで、参加意欲に温度差があるのは当然だと思います。ただ、自分たちの一番身近な海である前浜に、もっと関心を持ってもらいたいですね。

また、せっかく資格を取っても、潜水に必

要な機材は高価なので、購入できず、技能を生かせない人もいます。資格を取ることは第一歩。それによって、若い人たちの意欲が高まり、青年部としてこういことがたい、こういう意欲があるのだという姿を見せることで、組合から新たな助成を引き出すぐらいになつてくれれば、青森県の漁業全体がよい方向に向かっていくのではないのでしょうか。」



(上) 海洋実習の様子  
 (下左) 部長姿で事業の意義を熱心に語る後藤さん  
 (下中) 潜水技術学科講習の様子  
 (下右) プールでのスキューバダイビング実技講習